



# くわがた通信



VOL. 64

手稲区 富丘西宮の沢まちづくりセンター

2016.10.

〒006-0012 札幌市手稲区富丘2条2丁目1-1 (Tel. 685-4745 Fax. 685-0376)

## 子どもたちが救命救急訓練 ～ 富丘児童会館

8月5日(金)、富丘児童会館で子どもたちを対象にした救急講習が行われました。

この講習会は、小さい時から救命救急に対する意識を持ってもらおうと、手稲消防署が独自に取り組んでいるもので、児童会館を利用している小学生約70名が参加しました。

子どもたちは、救急隊員に教えてもらいながら、模型を使って胸骨圧迫の方法を練習したり、実際に電話を使用して119番通報を体験。訓練を終えた子どもたちには、一人一人「ジュニア救急隊員認定証」が手渡されました。



## 笑話・歌声体操 ～ 健康づくり事業



9月14日(水)、富丘西宮の沢まちづくり協議会が主催する「健康づくり事業」の第2弾、「笑和・歌声体操」が行われました。講師は、皆さんおなじみのトレーニングパーク手音(たね)代表・山本敏末(やまもととしみ)さんです。

スポーツトレーナーでもある山本さんの指導のもと、参加した35名の皆さんは、簡単なストレッチを交えながら、懐かしい昭和の歌謡曲に合わせて体を動かしました。

## 演芸の集い ～ 西宮の沢連合町内会

9月25日(日)、第8回目となる西宮の沢連合町内会主催の「演芸の集い」が開催されました。

連合町内会に加入している7つの町内会から24組がエントリーし、カラオケや舞踊、民謡に日頃の鍛錬の成果を披露。会場に詰めかけた約100名の観客から盛んな声援を浴びていました。

会場ではビールや日本酒も提供され、出演者も観客も一緒になって、和気あいあいと秋の一日を楽しんでいました。



## 安心・安全な街づくりのために ～ 富丘連合町内会夜間パトロール



9月2日（金）、富丘連合町内会による夜間パトロールが行われました。このパトロールは、地域の安心・安全を守るため、手稲警察署と手稲区交通安全運動推進委員会の協力を得て、連合町内会の防犯部と交通部が毎年2回実施しているものです。

パトロールに先立って行われた出動式では、連合町内会の島影省吾（しまかげしょうご）防犯部長と大野勲（おおのいさお）交通部長が宣言文を朗読。地域が一体となって安心・安全な街づくりを目指していくことを確認しました。

その後参加者は、青色回転灯装備車両（青パト）6台と一般車両5台に分乗し、パトカーとともに富丘地区内の約5キロを1時間かけてパトロール。飲酒運転や振込め詐欺、交通事故などに対する注意を呼びかけました。

## 一日の始まりはラジオ体操から ～ 富丘東一町内会



夏休みの朝のラジオ体操。子どもの頃、首からカードをぶら下げて、近くの公園でラジオ体操をした思い出をお持ちの方も多いのでは。

富丘西宮の沢地区でも、多くの町内会が夏休みにラジオ体操を行っていますが、夏休みに限らず毎日ラジオ体操を行っている町内会があります。

なかでも一番長い歴史を誇るのが富丘東一町内会のラジオ体操会です。昭和58年の夏以来、5月1日から10月末までの毎日、30年以上にわたってラジオ体操が行われています。

参加者は、毎朝6時25分頃「富丘ささの子公園」に集まり、町内のラジオ体操指導員と一緒に約15分間、ラジオから流れるおなじみの音楽に合わせて体を動かします。普段は40名程度ですが、夏休み期間中には子どもたちを含めて200名以上が集まるとのこと。1級ラジオ体操指導員の資格をお持ちの長谷川福三（はせがわふくそう）さんは、町内会のラジオ体操が始まったころから、指導員として活動を続けています。お話をお聴きしていると、地域の健康増進のためにという熱意を感じることができます。

富丘東一町内会ラジオ体操会は、長年の活動内容が評価されて、平成8年に札幌市の、平成20年には北海道の、それぞれラジオ体操優良団体として表彰されています。



夏休みのラジオ体操の様子

■富丘西宮の沢地区の出来事は、まちづくりセンターのホームページでもご覧いただけます■

[http://www.city.sapporo.jp/teine/machi\\_center/tominishi/index.html](http://www.city.sapporo.jp/teine/machi_center/tominishi/index.html)